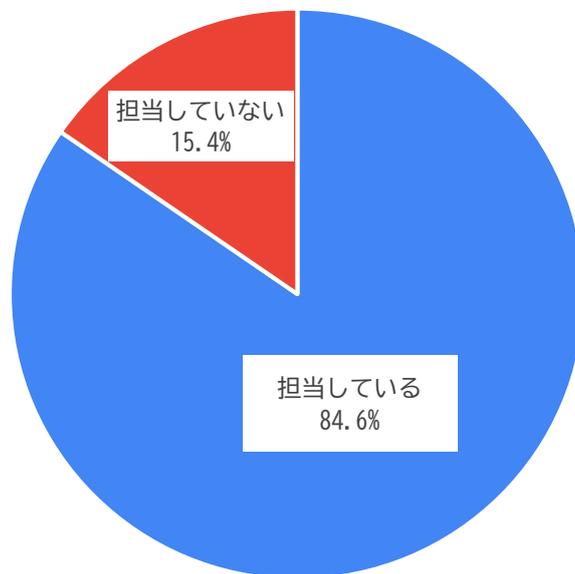


<アンケート調査結果>

問1 現在、部活動の顧問（副顧問も含む）を担当していますか。

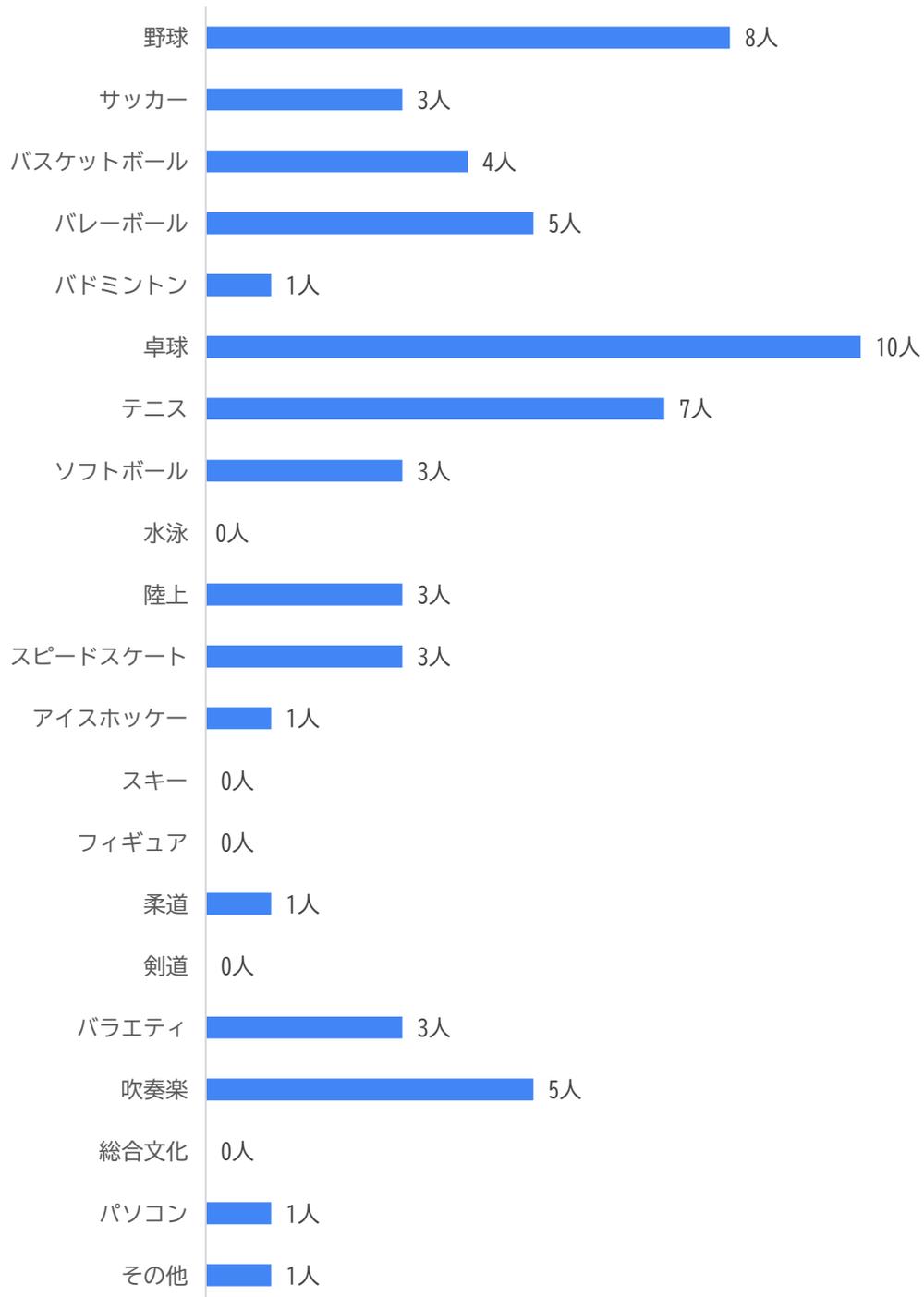
n=65



問2 現在担当（顧問）している部活動は何ですか。複数あればそれぞれ回答してください。

（問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答）

n=55

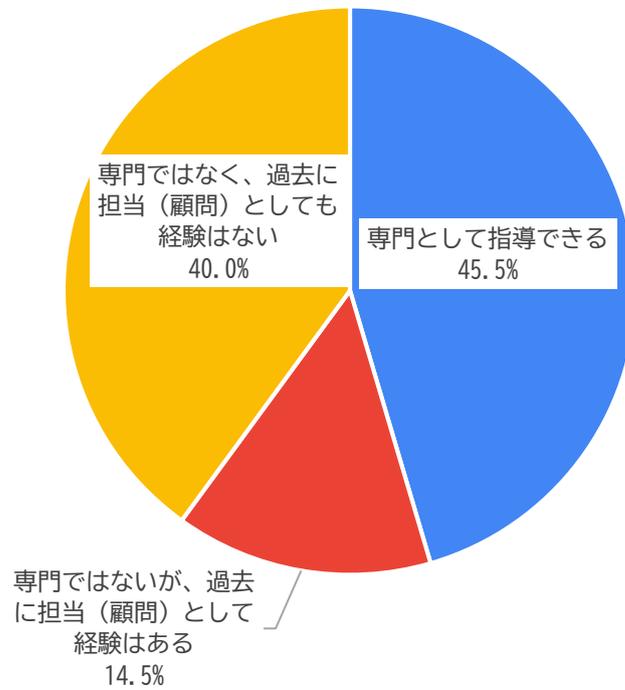


※その他（生徒達が決めた多種多様なスポーツと手芸や工芸など文化活動）

問3 現在担当している部活動は、ご自身が専門として指導できるものですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)

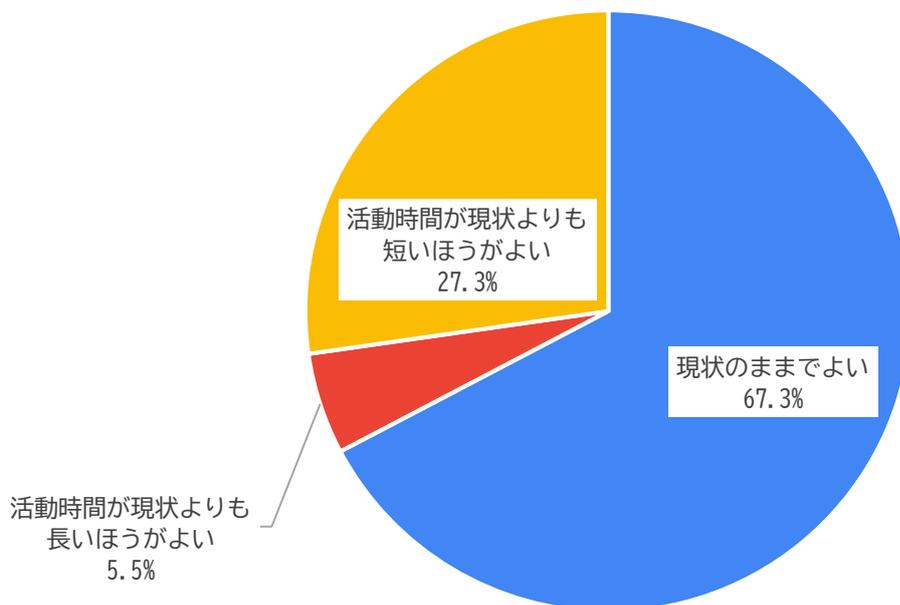
n=55



問4 平日の部活動の活動時間は2時間程度となっていますが、活動時間はどのようにお考えですか。

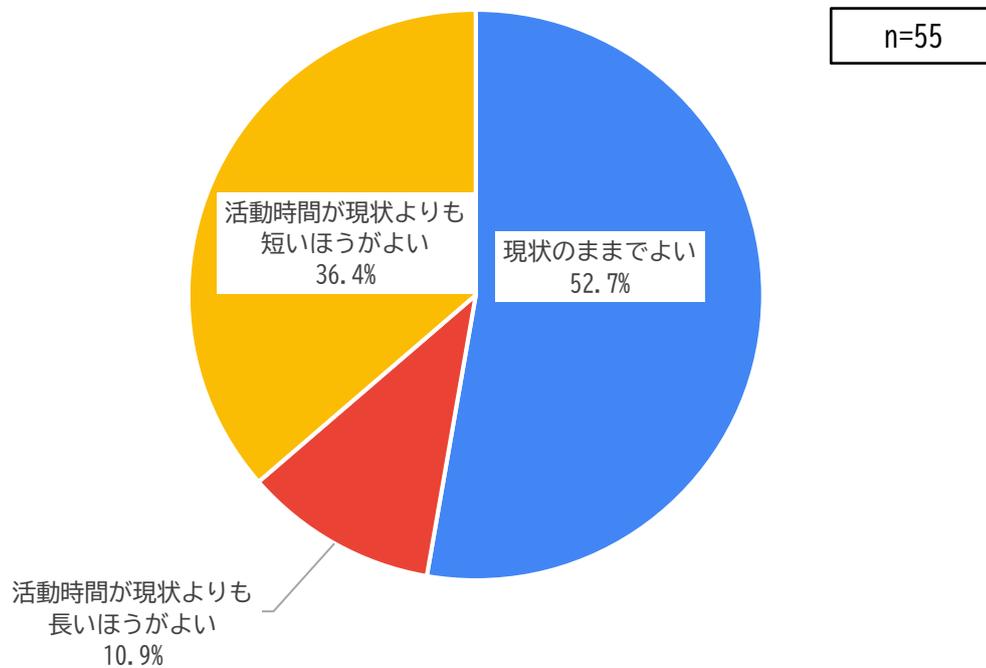
(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)

n=55



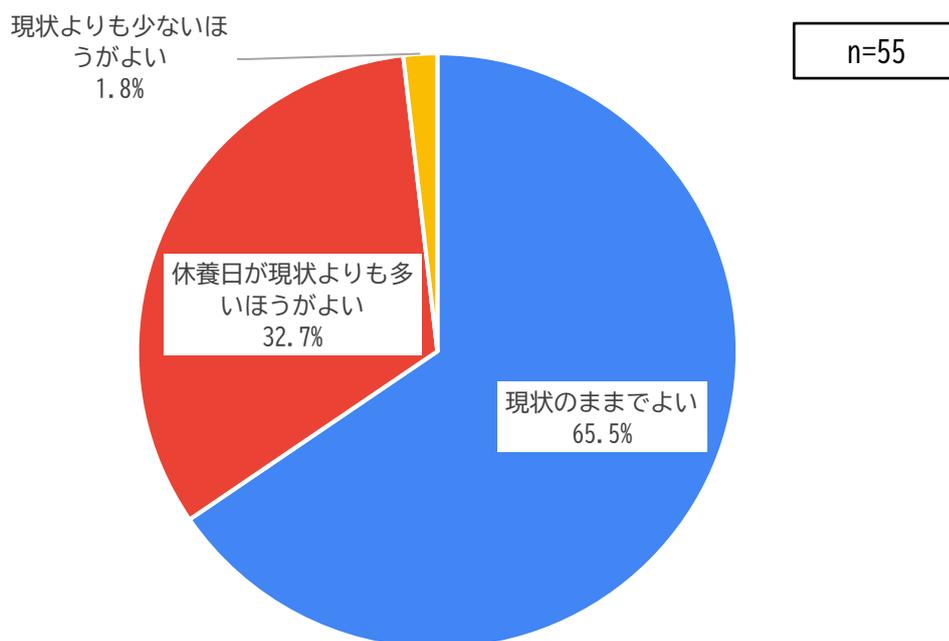
問5 土曜日や日曜日の部活動の活動時間は3時間程度となっていますが、活動時間はどのようにお考えですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



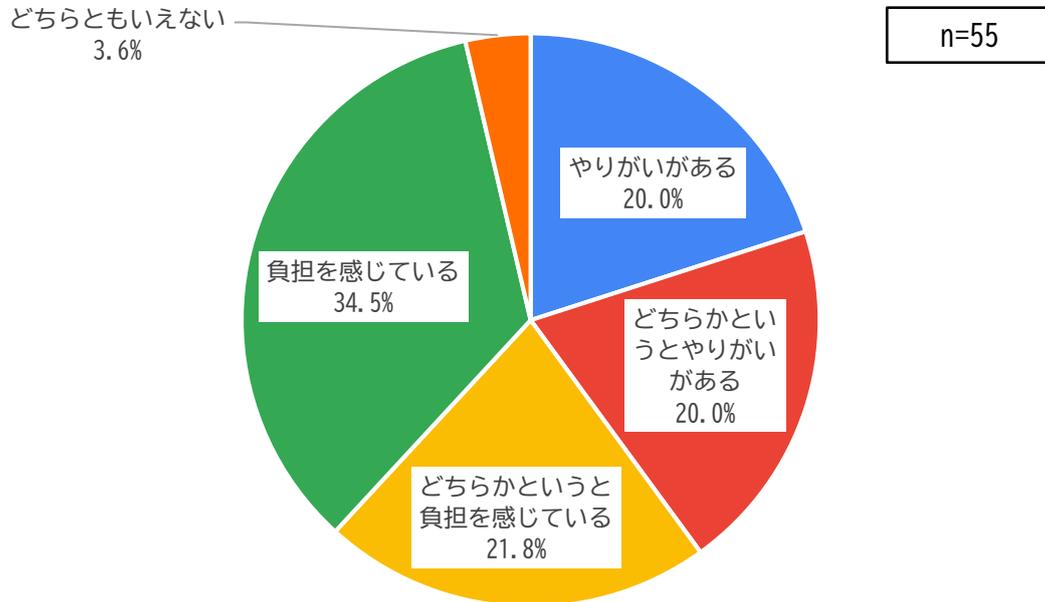
問6 部活動の休養日は週あたり2日以上を設けることになっていますが、休養日の日数はどのようにお考えですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



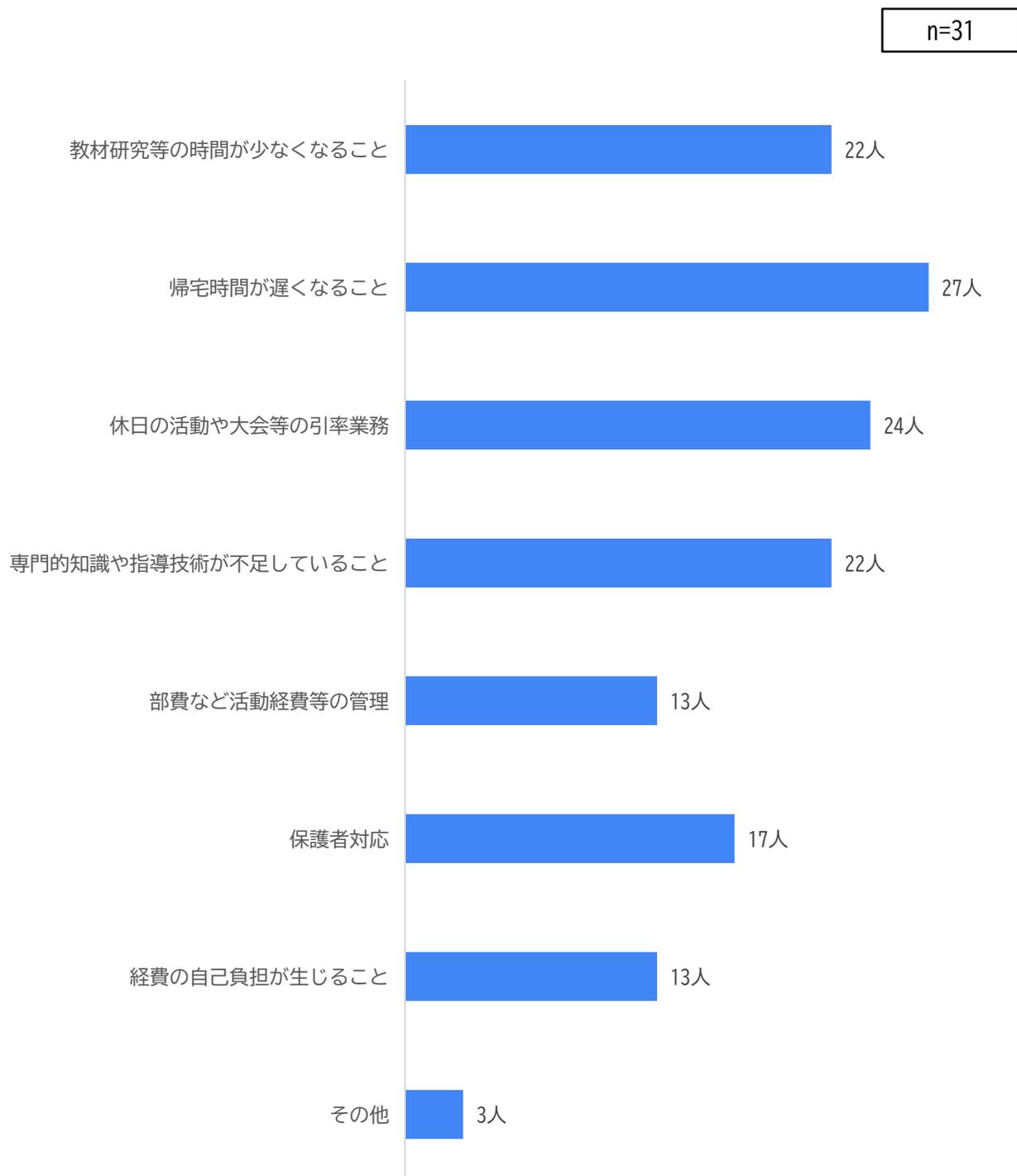
問7 部活動の指導について、どのように感じていますか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



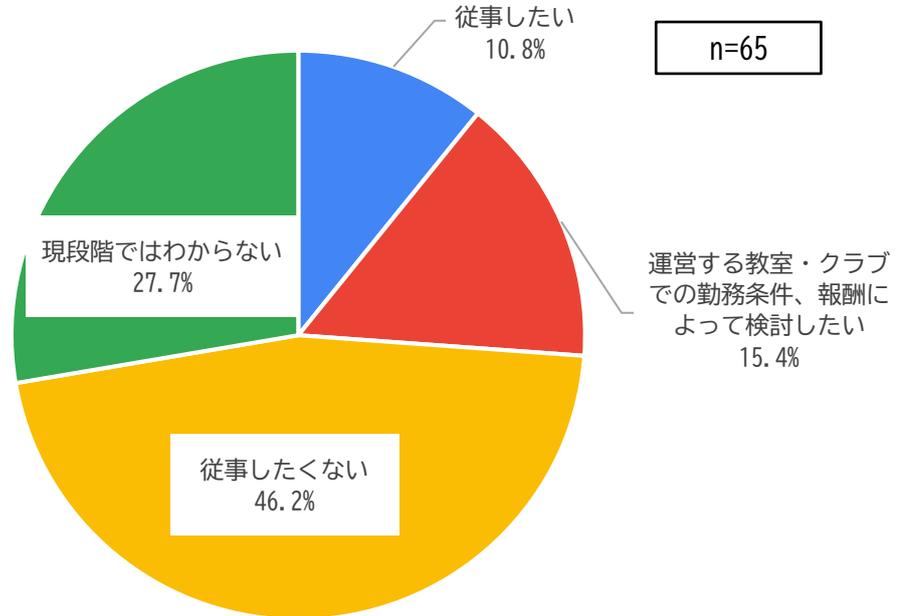
問8 どのようなことに負担を感じていますか。複数あればそれぞれ回答してください。

(問7で、「どちらかという負担を感じている」、「負担を感じている」を選択した教職員のみ回答)

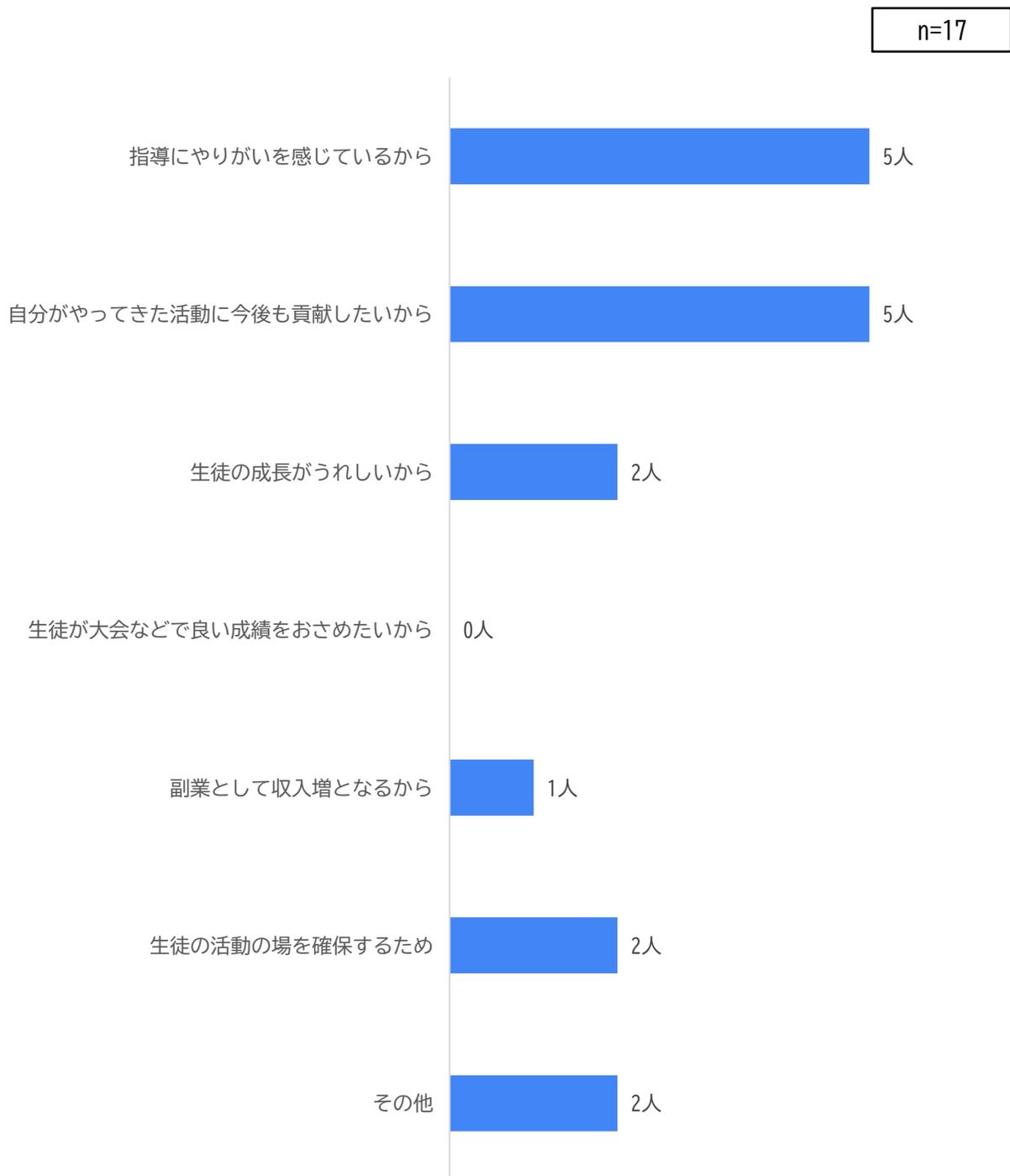


※その他（家庭の時間が持ちづらくなること、土日勤務の報酬が安すぎること など）

問9 休日の学校部活動を地域のスポーツクラブや文化団体等が運営する教室等の活動に地域移行した場合、あなたは兼業の許可を得たうえで、子どもたちのスポーツや文化芸術活動の指導に従事したいと思いますか。



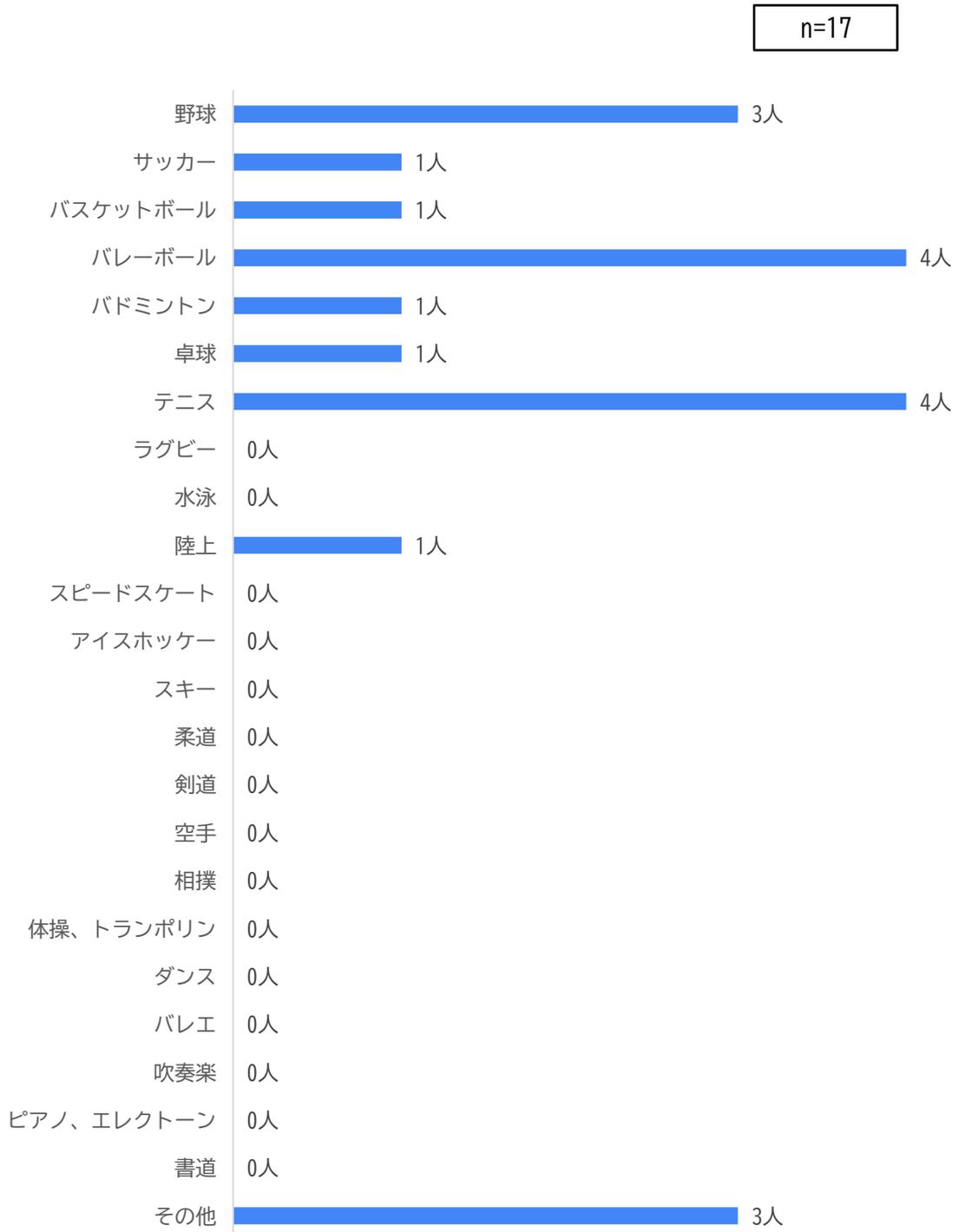
問10 「従事したい」または「検討したい」と思ったのは、どのような理由ですか。
(問9で、「従事したい」、「運営する教室・クラブでの勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)



※その他（収入増とやりがいの両方 など）

問11 どのような競技・種目の指導をしたいと考えていますか。複数あればそれぞれ回答してください。

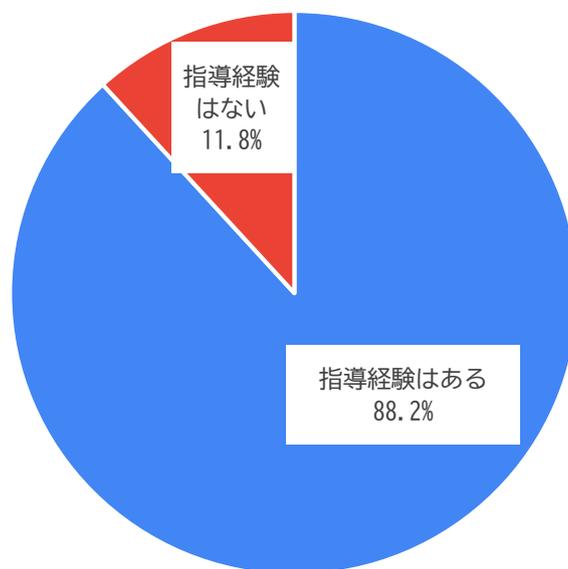
(問9で、「従事したい」、「運営する教室・クラブでの勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)



※その他（演劇、アーチェリー など）

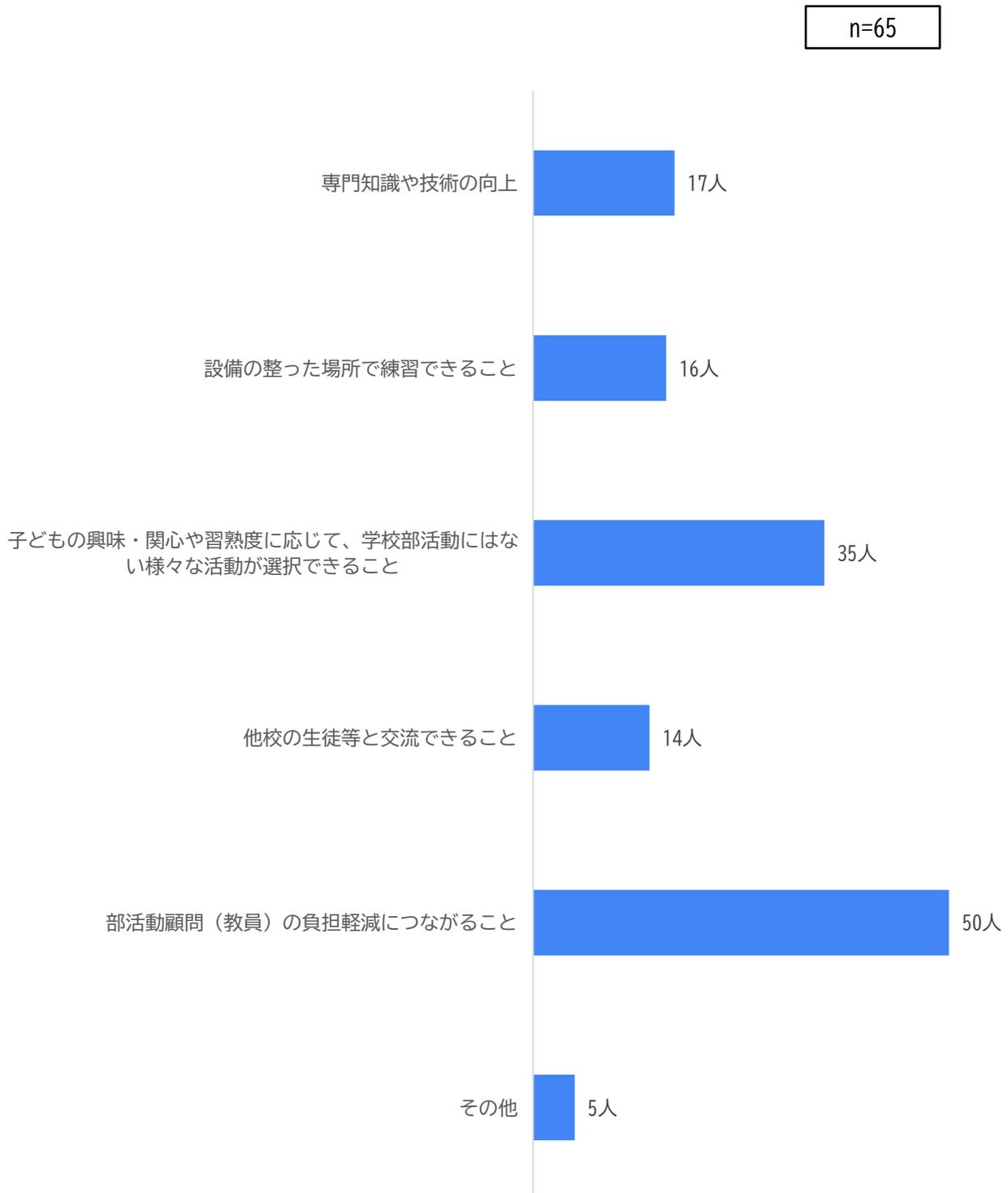
問12 その競技・種目は、指導経験はありますか。

(問9で、「従事したい」、「運営する教室・クラブでの勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)



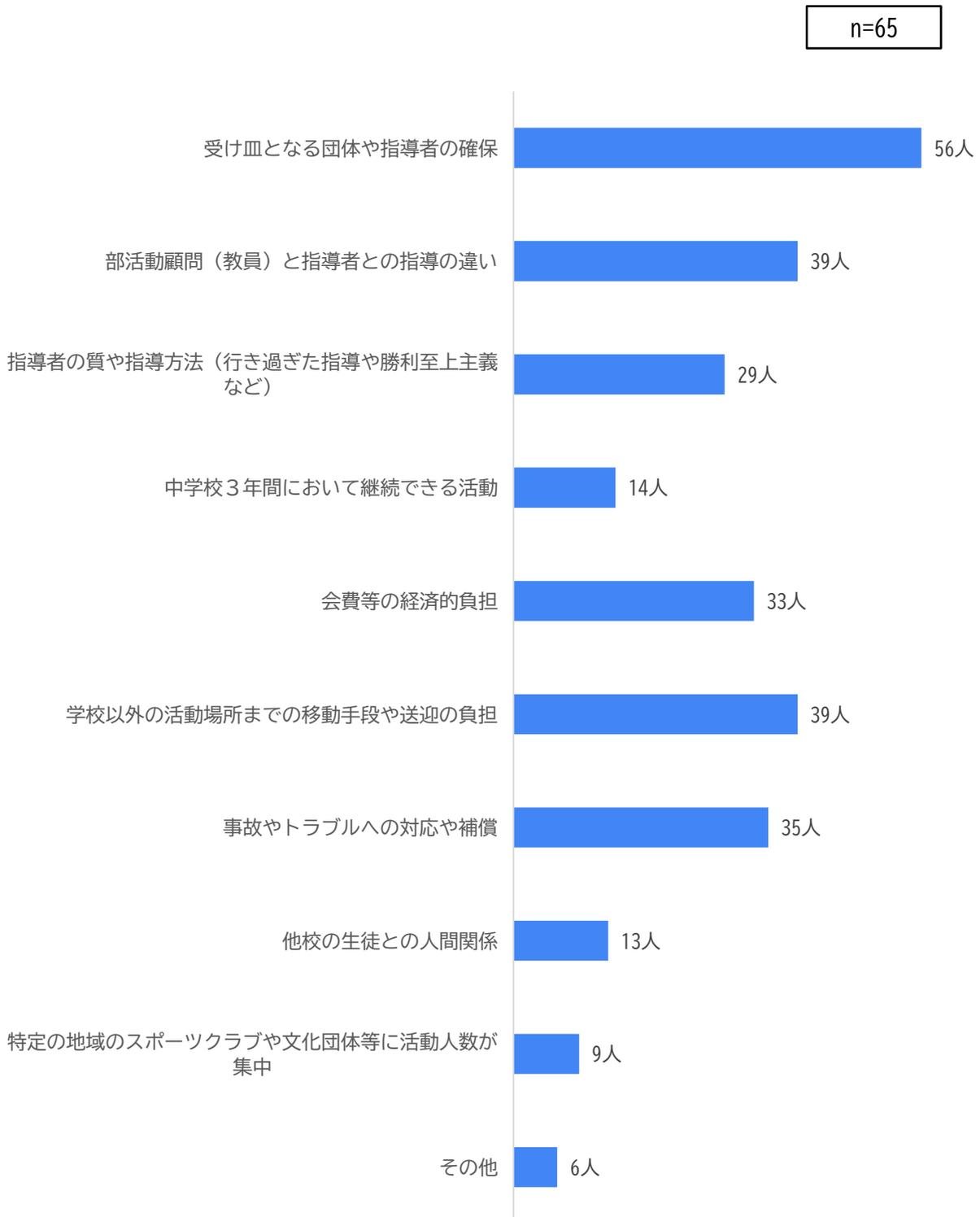
n=17

問13 休日の学校部活動の地域移行において、期待することはありますか。複数あればそれぞれ回答してください。



※その他（生徒指導がきちんとできる人材の確保、勝利至上主義にならないこと など）

問14 休日の学校部活動の地域移行について、課題となることは何ですか。複数あればそれぞれ回答してください。



※その他（大会運営のあり方について、指導者への謝礼の確保 など）

問15 部活動の地域移行について、ご意見があれば、お書きください。

経済的、移動交通手段的にも町等の手厚いサポートが必要かと。

迅速に進めて欲しい。

指導者体制や練習場所など慎重に検討していくべきだと思う。

生徒と保護者の活動目的が一致することが条件となると考える。活動費も含む、指導者への報酬。地域移行にするための道筋が不明確。

町が主導で活動することができればよいと思う。どの学校も人数が足りない、もしくは足りなくなるのは明確なので、「拠点校部活動」のようなシステムであればすぐに取り組めると思っています。

早期の完全移行に期待したい。

部活動の負担感が大きいので、早めの地域移行を望んでいます。

町民や学校職員との意見交流などして推進していかなければ形だけの外部指導、地域移行になると思う。持続可能な教育をしていくためにも部活動のあり方は抜本的な改革が必要だと考える。また、もっと外部の有識者を呼んで研修をした方がいいと思う。

スクールバス、活動費、人材の確保、教員の扱いなどなかなか見えてこない中で地域移行だけを謳っても進まない。ここからここまでは教員にお願いするなど具体案・具体策の提示を早急に求めます。そうでなければこちらから要望を挙げた方がよいのでしょうか。今の中学2年生はもうあと1年、中学1年生はあと2年しかありません。委員会も業務過多だとは存じますが、一刻も早いご対応をお願いします。

競技経験のないスポーツの指導は精神的負担が大きいのが現状です。それを解消できるような方策を望みます。また、現場だけではどうにもならないことがあるのも事実ですので、行政側からの世論等へのアプローチを期待しています。

地域移行してしまうと、学級での生徒の様子以外の面に関われなくなったりコミュニケーションする場が減ってしまうかなと思いました。

地域移行とはなっていますが、実情として教員が携わるような動きがぬぐい切れていないようです。もしその中でも学校業務と兼務するならば、部活動を担当することとなる教員の学校業務は軽減されるべきだと考えます。まがいなりにも専門として携わってきましたが、それでも部活動に対する負担は大きいと感じています。

各方面での課題はまだ多いと感じますが、教員の負担軽減の観点から早期に決着することが望ましいと考えます。

生徒、指導者の両方への経済的な裏付けが大切だと思います。

地域移行の際に、各学校に存在している部活動を「廃止」することが前提になると思います。それを各学校で進めていくことと並行しなければ、目的がぶれることになると思います。「部活動の地域移行」と「現存する部活動のクラブ化」は質の違う問題だと考えます。

また、「中体連主催」大会において、引率が外部指導者でも認められてきていますが、今後の大会参加において、主催いかににかかわらず「引率」的な立場の人が必要になったとき、その辺りも地域の方(指導者?)が担ってくれる方向で話を進めていかなければならないと思います。

現在中学校の先生方の中で、引き続き「指導したい」と希望している方への処遇が心配です。「地域の一員」として貴重な存在になると思われまので、「特勤手当」含め、平日の待遇面でそれぞれの職場はもちろんのこと、町として「保証・保障・補償」していくべきことだと思います。

働き方改革を促進するためにも、部活動の地域移行をすみやかに、積極的にすすめていただきたい。また、教員の実質的な労働時間をしっかりと管理職や教育委員会は把握していただきたい。部活動を行うに当たり、多くの教員が、かなり多くの時間外労働がおこなわれている実態を理解していただきたい。それらをお願いしたいです。

学校だけではなく、世の中の働き方改革が必要だと思います

そもそも人が少ない地域では、指導者の確保が難しい。都市と農村部での地域格差が広がるのではないか。

地域移行を進めるのであれば、自治体としての考え、学校現場の考えをしっかりと整理していただきたいです。

地域移行という言葉が先行して生徒(選手)、保護者、教員(指導者)は何がどう変わるのか全く先が見えない状況です。誰の何のための地域移行なのか慎重に考えていくべきです。生徒(選手)や保護者の視点からしたら今できている活動よりも制限がかかったり不便なことがあると何のための地域移行なのかとなります。

教員(指導者)の視点からしたら働き方改革や長時間労働が問題になっている中で、部活動に携わりたい人、携わりたくない人の権利をしっかりと保障していただきたいです。

また競技ごとに実態や特性が違う中ではありますが、一部の競技だけが先行して地域移行を進めていくのではなくある程度足並みを揃えて進めていただきたいです。でないと、ある競技で部活動指導から離れたのに学校現場には他の部活動がまだ存在しているから違う部の指導に当たるようにされてしまったりとなってしまう。

現場でも地域移行については他人ごとではなくて考えている(イメージをもっている)方々もいますが現場の力だけではどうにもならないこと(費用など挙げればきりがありません)がたくさんあります。

しっかりと現場の声吸い上げてから他の自治体の動きも参考にし、慎重に進めていっていただきたいです。

技術指導はもちろんですが、小中学生そして大人になったときに必要となる力を指導してくださる指導者を地域で見つけだしてほしいです。

いずれは部活動を完全に地域移行していただきたいと思っています。

アメリカ在住の友人とこの間会食し、その子供が中学生ということで海外の現状を聞きました。年間3～4の期間を区切って、それぞれの期間に多種多様なスポーツに触れる機会があるとのこと。例えば、野球、サッカー、バスケなど。アメリカでは最近サッカーに人気が集まっている。週3回程度の活動。

(これは、生涯スポーツとして基礎基本を習得し、なにより大切にしているのは「スポーツの楽しさを味わうこと」、多種多様なスポーツに触れる機会があるからこそ比較検討でき、子ども自身が自分の特性や興味関心に応じてスポーツを取捨選択ができる。これは、人生100年時代においては大切なことと考える。例えば、50歳になってからバレーボールを趣味として始めようと考えた時に、中学生時代に経験していれば抵抗感なく始められる。)

※アメリカは学校教育として、中学時代は競技スポーツとして極めようとはしていない。

↑ここが日本と違うところ。

さらに、興味関心を抱いたスポーツに集中したい場合は、そのクラブチームに加入するという流れが出来ているとのこと。

私は、世の中で教員の働き方はブラックだと言われる今、抜本的に改革する必要があると考えます。それには、移行前の準備期間に確実に移行できるように環境を整備することと思います。

幕別町として、町民の子どものあり方を考えた時に、今だからこそできる大きな改革を望んでいます。他の市町村と足並みをそろえることに注力せず、目の前の子どもと教員の現状をよく視察してほしいです。

私が勝手にずっと考えていたことです。

地域移行について

①幕別町は、学校教育と部活動を完全に切り離す。(ブラックと言われる原因の一つを解消)

↑インパクトが大切。

②幕別町の教職員は、部活動を持たなくていい。(自ら希望する場合は除く。)

③部活動に代わるものとして、放課後クラス活動を立ち上げる。

④希望する生徒は、年間3シーズン(1学期、2学期、3学期)に分けて、3種類のスポーツを足しなう。

⑤これは、放課後活動して、勤務時間+1時間程度で(平日2時間以内)で進める。

⑥教員の勤務外は、夏休みにまとめて取得できるようにして、賛同を得られた教員ならびに、地域の人たちに手伝ってもらって進める。

⑦それ以上要求してくる子どもたち、競技スポーツをやりたい子どもは、地域のクラブチームや各スポーツの協会の練習に参加する、または「もっとやりたい」という複数教員で専門クラブチームを立ち上げて活動する。

⑧軌道に乗るまでは、教育委員会の方々も一緒に参加していく。

こんなイメージです。(町教委の方々の事情もわからず、私案ですいません)

関係機関や保護者、地域から色々なご指摘もあると思いますが、ぜひ全国に先駆けて、幕別町が先頭を走ってほしいと切に願います。

よろしくお願い致します。

上にも書きました。財源をどうにかしてください。部活動だから、中学校の教員に聞くのは違うし、そもそもこれは行政で行う話。お金が確保できて、人材派遣のために、中学校教員を派遣するというのならわかりますが、根本の政治や議会がらみの話に、中学校教員を巻き込もうとしていること自体がナンセンス。幕別町だけの話ではありませんが、議員や役所・役場職員が理解しないことには、進まないと思いますよ。(批判と期待を込めた激励です。よろしく願いいたします。いくら教員が訴えてもお金は動かさません。動きません。)

保護者の経済的な理由で、生徒の活動に不利益が出ないように配慮して頂きたい。

生徒用アンケートの文言が難しく、回答期間も非常に短かったために正しい調査結果となったかどうか不安です。幕別町としてどのような方針で考えていて、それに対する意見をもらうようなアンケートであるべきなのかな。と思いました。

スピード感を持って取り組んでほしい。検討するのではなく、確実に実施に向けて動いてほしい。